



● より大きな人工衛星を搭載するため包絡域を拡大（人工衛星 500 キロ～を想定）。

● 2段モータの大型化にともない推薬（火薬）を増量。打ち上げ能力が向上した。

● イプシロンを表す2重の矢（ダブルアロー）を追加。流鏑馬で使用される矢の意味も含まれる。

● サブラインを銀から紫に変更。赤と紫は光のスペクトルの両端を表す。



全長：約26 m

© JAXA

肝付町がイプシロンロケット一色に染まった2013年。あれから3年経った2016年12月20日に内之浦宇宙空間観測所から新型のイプシロン2号機が打ち上げられました。

2号機はより大きな衛星を搭載するため包絡域を拡大、さらに2段モータの大型化や構造、艀装軽量化などが施され、打ち上げ能力が向上したイプシロンロケットです。

またデザインも一部修正。イプシロンを表す2重の矢（ダブルアロー）や第一段部分のサブラインを紫にするなどいくつかの変更が施されました。

特に2重の矢ダブルアローは流鏑馬の矢の意味も込められ、そこにメッセージを掲載。「私の文字を憧れの宇宙に届け」など6471件の応募がありました。

打ち上げ当日の午後8時、轟音と共に煌々と輝きながら夜空に打ちあがるイプシロン2号機を県内外から訪れた多くの見守者が見守りました。